

武力で平和はつくれない

第29回 平和のための戦争展 ちば

入場無料

2023.9.14(木)~17(日) 10:00~19:00(最終日 16:00まで)

船橋市民ギャラリー

船橋スクエア21ビル3階 京成・JR船橋駅徒歩5~7分
会場電話 047-420-2111

過去の戦争を知る

——戦争とはなんだったのか——

○武田美通作品「戦死者からのメッセージ」

○戦争の遺品 ○詩画「一本の鉛筆」

○歌と戦争 ○米軍資料から見た銚子空襲 ○生徒と聞き取った戦争体験 ○ある騎兵の見た関東大震災 ○沖縄戦—軍隊が来た島の悲劇 ○東京空襲と全国空襲 ○軍都千葉と千葉空襲 ○沖縄戦の真実の記録 ○「原爆と人間」写真パネル ○村瀬守保写真パネル(一兵士が写した日中戦争の記録) ○撫順戦犯管理所の記録(“鬼”から“人間”へ) ○治安維持法で犠牲になった人々 ○夏見稻荷神社の平和祈念碑 ○マンガにみる戦争の記録 など



今日の戦争と平和を考える

— 新しい戦前にさせないために —

○沖縄—「軍隊」がいる島 ○進められる南西諸島の軍事要塞化 ○教科書は今 ○若者が描く「戦争と平和」 ○反対！幕張メッセの武器見本市 など

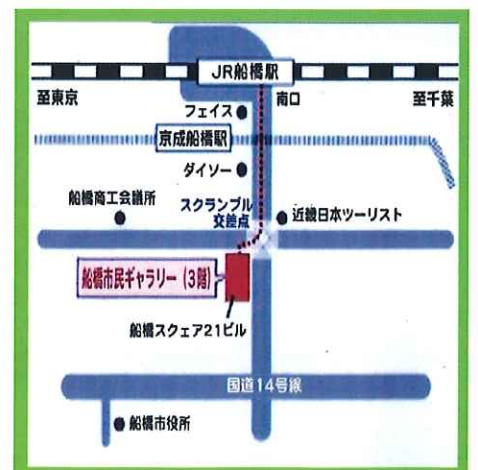


9/15(金) 10:30~12:00 「沖縄、再び戦場(いくさば)へ」三上智恵監督
スピノフ作品上映と懇談

13:30~15:30 沖縄対話プロジェクト「宮古島からのメッセージ」

9/16(土) 11:00~12:00 紙芝居上演「命どう宝—伊江島のたたかい」他
13:30~15:30 参加団体の活動紹介

9/17(日) 11:00~12:00 朗読「—もしそれがわたしだったら—反戦詩集、ことばあそびうたなど」
13:30~15:30 みんなで語ろう「学校は、今」



主催 「平和のための戦争展ちば」実行委員会

事務局 〒285-0862 佐倉市新臼井田12-24

上田美每方 tel&fax 043-487-1833

「戦死者からのメッセージ」

鉄の造形作家 武田美通作品 全日展示



上：残された数秒の母子のいのち

右：帰還兵は問う



《略歴》1935年北海道小樽市生まれ。皇国の少年として育ち、

国民学校一年生の時太平洋戦争に突入、四年で敗戦。早稲田

大学で社会を学び、日本経済新聞の記者として10年間勤務。以後テレビ東京で勤務。60年安保取材をスタートに激動の昭和後半を目撃。

海外取材を含め36年間のジャーナリスト生活だった。とりわけ少年期からのテーマ「戦争は？ 国家・軍隊とは？」のもとに、アメリカ海

兵隊や自衛隊などの取材に力を入れた。60歳を前に造形作家の道歩む。当初は音楽家や鳥、花などの作品づくりに取り組み、それらは

400点を超え人気を博した。しかし「戦争をする国」への兆しがみえたとき、それまでの作品づくりでよいのかと自問、以来15年に及び

「戦死者たちからのメッセージ」制作に取り組む。音楽家や動物をつくりつけて獲得した創作力は、戦死者たちの無念と悲しみ、やさしさ

をも表現する力強い繊細な造形を可能にした。

2016年5月15日 享年80歳

賛助および実行委員会団体

●安保関連法に反対するママの会@ちば ●革新懇話会市川 ●鎌ヶ谷平和行進実行委員会 ●子どもと教科書習志野・八千代ネット21 ●新日本婦人の会千葉県本部 ●治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟千葉県本部 ●千葉沖縄県人会 ●千葉から愛と平和を！合唱団 ●千葉県アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会 ●千葉県憲法会議 ●千葉県私立学校教職員組合連合 ●千葉県平和委員会 ●千葉県平和遺族会 ●千葉県歴史教育者協議会 ●千葉市空襲と戦争を語る会 ●ちば・戦争体験を伝える会 ●千葉退職教職員の会 ●千葉土建主婦の会 ●東京・関東キリスト者平和の会 ●東総戦跡展 ●日中友好協会千葉支部 ●日本国民救援会千葉県本部 ●船橋革新懇話会 ●船橋市教職員組合 ●船橋市役所職員労働組合 ●船橋二和病院健康友の会